

難関私立大学の主な総合型選抜

大学名	学部・学科名	総合型選抜名	募集人員 22年度	選抜倍率 (22年度)	一般選抜 倍率 (22年度)
早稲田	国際教養	AO	100 ^{※1}	3.9	3.3
	社会科学	全国自己推薦	35	7.6	11.1
	創造理工(建築)	AO	25	3.8 (21年度)	3.7 (21年度)
慶應義塾	SFC 総合政策	AO	150	5.2	5.3
	SFC 環境情報	AO	150	4.3	5.5
	法	FIT	最大160	4.0	4.2
上智	文	自己推薦	120	2.8	3.2
	総合グローバル	公募制推薦	60	2.4	2.8
国際基督教	外国語(英語)	公募制推薦	70	1.8	2.7
	国際教養	公募制推薦	37	1.9	— ^{※2}
明治	教養(アーツ・サイエンス)	総合型選抜	約65	2.4	3.8
	商	公募特別共テ利用	40	1.8	4.2
青山学院	理工	AO	27	3.4	3.1
	文(英米文)	自己推薦	約30	3.0	3.8
立教	地球社会共生	自己推薦	約31	3.3	3.0
	異文化コミュニケーション	自由選抜	約15	7.5	7.3
	経営	自由選抜	約40	3.5	5.3
中央	コミュニティ福祉	自由選抜	約40	7.2	3.1
	法	チャレンジ入試	30	6.5	3.1
	理工(各学科)	高大接続型自己推薦	44	2.0	3.0
法政	現代福祉	まちづくりチャレンジ	10	3.0	3.2
	グローバル教養	自己推薦	28	2.0	1.6
関西	総合情報	AO	20	2.5	4.9
	法	AO	25	2.5	3.8
関西学院	全学部	探究評価型	各若干名 ~5	2.0	—
同志社	社会	公募・自己推薦	33	2.3	3.5
	法	自己推薦	20	1.3	3.2
立命館	文(各学科)	AO	74	1.4	3.1
	産業社会(同)	AO	44	3.3	3.4

倍率は各大学のホームページなどをもとに、志望者数(公表されている場合は受験者数)を合格者数(補欠合格者数含む)で割って算出。一般選抜のデータが複数ある場合は最も合格者数が多い入試形式から算出した

※1 9月入学、国外選考は除く
※2 一般選抜による募集はない

「MARCHの中にユニークな入試制度がある」と聞き、興味を持った。志望を決定するのは同時に、地元ビジネスプランコンテストに応募し準グランプリを受賞。入試では「ビジネスの観点からまちづくりを実践したい」とアピール。就職先は不動産業界を希望している。

東京都出身の田川大翔さん(19)は高校2年の冬に親から「MARCHの中にユニークな入試制度がある」と聞き、興味を持った。志望を決定するのは同時に、地元ビジネスプランコンテストに応募し準グランプリを受賞。入試では「ビジネスの観点からまちづくりを実践したい」とアピール。就職先は不動産業界を希望している。

静岡県出身の山下友梨子さん(20)は、まちづくりに取り組む高校の課外活動で中心的役割を担ってきた。現代福祉学部の総合型選抜を知ったのは高校3年の夏。課外活動の担当教諭に勧められ、水野教授の出前授業を聴講したのが転機になった。山下さんは大学院に進学し、まちづくりの理論研究とともに、フィールドでの実践経験をさらに積みたいと考えている。

経歴は三者三様だが、「まちづくりのプロフェッショナル」になるビジョンは共通する。水野教授は言う。

「現代福祉学部の学生は他学部と比べておとなしい印象があり



法政大学の「まちづくりチャレンジ入試」で入学した田川大翔さん、山下友梨子さん、佐藤絢斗さん(左から)

ますが、総合型選抜で入った学生は目的意識が明確でハキハキと自己主張します」

行動力が肝になるのは、法政大学現代福祉学部が20年度から導入している「まちづくりチャ

「観光」と「移住」を組み合

まちづくりプロジェクト

東京都出身で北海道興尻高校に「高留学」していた佐藤絢斗さん(19)がこの入試を知ったのは高校3年の春。それまで、島の課題解決のため、他校の生徒と「観光」と「移住」を組み合

「ちょっと規格外ぐらいのほうがいい。社会を変えようという意欲のある人に来てほしい」と呼び掛けるのは同学部の水野雅男教授。情熱や本気度はどう見極めているのか。

「志願者は自治体の首長にインタビューしたり、住民アンケートをまとめたり、実際に行動した実績をアピールしています」

「まちづくりは主体的にかかわった経験や実績をアピールできる人が対象だ。」